（別紙4（2））

事業所名　認知症高齢者グループホームまつばら荘

目標達成計画

作成日：令和　5年　3月　2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	総合避難訓練、自主避難訓練の実施はしているが、職員配置の少ない夜間時の避難手順や地域との連携方法、様々な災害による対応の仕方等踏み込んだ訓練の実施と課題の洗い出しが必要。	自主避難訓練を活用し、平常時の災害対策に付け加え、地震、風水害豪雪等考えられる災害への訓練を実施し有事に備える。また、地域との連携方法を明確にする。	夜間帯想定避難訓練では、実際に連絡網を活用した訓練を行う。また、地震や豪雪を想定した訓練を取り入れ対応の確認をしていく。地域との連絡方法を確認する。	6ヶ月
2	45	希望に沿った入浴支援を行っているが、設備等の問題で浴槽への入浴が難しい利用者様が数名いることから、設備の改善を働きかけるなどして、充実した入浴支援が実施されることが望ましい。	介護度の重い利用者様の入浴方法の見直しを図り、設備の働きかけを行う。	一人ひとりの入浴支援状況の見直しを図る。対応方法を話し合い、充実した入浴支援に繋げる。必要な設備の改善を働きかける。	12ヶ月
3	52	卓上のアクリル板は、視界を遮る状態となっており、利用者にかなり閉塞感を与えると思われるので、今後見直しに向けた検討が期待される。	コロナ感染症対策の緩和に合わせて職員とご利用者様、またご利用者様同士が触れ合える環境をつくる。	感染症分類が5種に引き下げになる時期に合わせ、アクリル板を取り払い円滑なコミュニケーションを行えるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。